

# 平成30年度 事業報告書

社会福祉法人宇都宮市社会福祉協議会

## 目次

総括	1
実施事業の概要	1
事業の実施状況	
1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり	3
(1) 福祉のこころの醸成と交流活動の促進	3
① 赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動の推進	3
ア. 赤い羽根共同募金運動	3
イ. 歳末たすけあい募金運動	3
② やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会支援の充実	3
③ 宇都宮市民福祉の祭典支援の充実	4
(2) 福祉に関する人材の育成と共育の推進	5
① ボランティア養成の推進	5
ア. 収集ボランティア活動の支援	5
イ. ボランティア体験プログラムの実施	5
ウ. 各種ボランティア養成講座の実施	5
② 福祉共育講座の充実	6
ア. 出前福祉共育講座の実施	6
イ. 福祉共育・ボランティア推進フォーラムの開催	6
2. 安心して暮らせる仕組みづくり	6
(1) 社会参画の促進	6
① 老人クラブ支援の充実	6
② 地区福祉まつり支援の充実	7
③ 男性高齢者調理講習会事業の充実	7
(2) 情報提供体制の充実	7
① 総合相談センター機能の強化	7
② 地域福祉に関する広報・周知・啓発等による情報発信の充実	8
ア. 広報紙の発行	8
イ. ホームページの充実	8
ウ. 福祉に関する情報発信機能の充実	8
(3) 組織体制の強化	9
① 会務の運営	9
② 苦情解決体制	10
(4) さまざまなニーズに応じたサービスの提供	11
① 法人後見事業の実施	11
② 介護保険事業等の充実	11
ア. 訪問介護事業の運営	11
イ. 通所介護事業の運営	12
ウ. 居宅介護支援事業の運営	12
エ. 障がい福祉サービスの運営	12
③ 指定特定相談支援事業所・障害児相談支援事業所の運営	13
④ 福祉車両貸出サービス事業の推進	13

⑤ 福祉機器（車いす等）貸出事業の推進	13
⑥ 福祉理美容出張費補助サービス事業の推進	13
⑦ ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進	13
⑧ 福祉機器・介護用品展示室の開設	14
⑨ 社会福祉資金貸付事業	14
⑩ 各種事業に対する共催・後援	14
<b>3. 地域で支えあうまちづくり</b>	<b>14</b>
(1) 共に支えあう地域づくり	14
① コミュニティワークの推進	14
② 地区社会福祉協議会支援の充実	14
③ ふれあい・いきいきサロン事業の推進	14
④ ふれあい・いきいきサロン連絡会の開催	15
⑤ 安心・安全情報キット配付事業の推進	15
⑥ 自治会・民生委員児童委員協議会・まちづくり推進協議会・ 地域包括支援センター等関係機関等の連携・協働の推進	16
⑦ ボランティアセンター機能の充実	16
ア. ボランティアの相談・登録・調整の充実	16
イ. ボランティア団体への活動支援の推進	16
⑧ 災害ボランティア活動等の実施	17
⑨ ファミリーケアサービス事業の充実	17
⑩ ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の推進	17
(2) 市民の主体的な地域活動への支援	18
① 第4次宇都宮市地域福祉活動計画の推進	18
② 福祉のまちづくり計画（小地域福祉活動計画）策定の支援	18
③ 福祉協力員制度の推進	18
④ 社会福祉協議会会員制度の充実	20
⑤ ぎんなん基金事業の充実	21
⑥ 善意銀行事業の推進	21
⑦ 敬老会開催の支援	22
<b>4. 指定管理施設等の管理・経営</b>	<b>22</b>
(1) 指定管理施設の管理・経営	22
① 老人福祉センターの管理・経営（5施設）	22
ア. ことぶき会館	22
イ. ふれあい荘	23
ウ. やすらぎ荘	23
エ. すこやか荘	24
オ. 上河内老人福祉センター	25
② 地域活動支援センターの管理・経営（3施設）	25
ア. 雀の宮作業所	25
イ. 若草作業所	25
ウ. 障がい者福祉センター	26
③ 総合福祉センターの管理・経営（2施設）	27
ア. 宇都宮市総合福祉センター	27
イ. 河内総合福祉センター	27

(2) 市からの受託事業等の実施	28
① 障がい者生活支援センター事業の実施	28
② 地域包括支援センター事業の実施	28
ア. 地域包括支援センター御本丸	28
イ. 上河内地域包括支援センター	29
③ 日中一時支援事業の実施	29
・ あっとほーむ・うだい	29
・ あっとほーむ・すずめ	29
・ あっとほーむ・かわち	29
・ 河内地域活動支援事業所	29
④ 障がい者福祉バス事業の実施	30
⑤ 各種奉仕員養成講座の実施	30
⑥ 宇都宮市意思疎通支援事業（要約筆記者派遣事業）の実施	31
⑦ 宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の実施	31
⑧ 生活困窮者自立相談支援事業の実施	31
⑨ 援護事業の実施	31
(3) 県社協からの受託事業等の実施	32
① 権利擁護センター「あすてらす」事業の実施	32
② 生活福祉資金等貸付事業の実施	32

## 〔総括〕

今日の社会福祉を取り巻く環境は、少子高齢化の急速な進展や低経済成長による生活困窮、地域社会や家族形態の変容、さらには個人の価値観やライフスタイルの多様化等を背景に、生活課題や福祉課題が複雑化かつ複合化しており、国においては、「地域包括ケアシステム」の具体化や、「我が事丸ごと地域共生社会」の実現に向けた取組みなど、市民一人ひとりが住み慣れた地域で、安心・安全な生活を続けていくための施策が進められています。

こうした中、本会では、第4次地域福祉活動計画に基づき、ふれあい・いきいきサロンをはじめとした地域福祉事業や福祉協力員活動の支援の充実、福祉のまちづくり計画（小地域福祉活動計画）の策定支援（4地区）、さらには市民のボランティア活動の促進や受託事業の適正な実施など、地域福祉を推進する団体としての役割を果たすため、地域住民を主体とし、地区社会福祉協議会をはじめ宇都宮市や自治会、関係機関・団体等との連携を密にし、各種事業の充実強化に努めました。

## 〔実施事業の概要〕

### 1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり

#### （1）福祉のこころの醸成と交流活動の促進

地域社会の中で、誰もが手助け・見守り・声かけなどを自然に行えるよう様々な啓発活動や交流活動を促進し、相互の理解を深めながら福祉のまちづくりの推進に取り組みました。

#### （2）福祉に関する人材の育成と共育の推進

誰もがやさしさや思いやり、お互いを尊重する気持ちをはぐくめるよう、出前福祉共育講座やボランティア養成講座などを開催し、福祉に関する人材の育成と福祉共育の推進に取り組みました。

### 2. 安心して暮らせる仕組みづくり

#### （1）社会参画の促進

誰もが心豊かに生きがいをもって自立した生活が送れるよう、仲間づくりや生きがいづくりなどの支援を行い、社会参画の機会の確保に取り組みました。

#### （2）情報提供体制の充実

多様な福祉サービスの中から、適切なサービスが受けられるよう、福祉に関する情報発信や相談機能を強化し、情報提供体制の充実に取り組みました。

### **(3) 様々なニーズに応じたサービスの提供**

住み慣れた地域や家庭で自立した心豊かな生活が送れるよう、様々なニーズに応じた福祉サービスの提供の充実に取り組みました。

また、介護保険法に基づき、介護保険事業者として、要介護者等の心身の状況にふさわしい介護サービスを提供するとともに、サービスの質の向上や改善を行い、適切な事業運営に努めました。

## **3. 地域で支えあうまちづくり**

### **(1) 共に支えあう地域づくり**

地域における生活課題に柔軟に対応できるよう、多様なネットワーク機能を充実させ、地域住民が共に支えあう地域づくりの推進に取り組みました。

### **(2) 市民の主体的な地域活動への支援**

誰もが地域福祉の担い手として、地域福祉活動を継続的に行えるよう、地域住民の自発的な活動への支援を充実させ、地域が一体となった地域福祉活動の推進に取り組みました。

## **4. 指定管理施設等の管理・経営**

### **(1) 指定管理施設の管理・経営**

施設の設置目的や特性、業務内容、運営実態等を踏まえ、住民福祉の増進に努めるとともに、より効果的かつ効率的に施設の機能を発揮できる管理・経営に努めました。

### **(2) 市や県社協からの受託事業等の実施**

宇都宮市及び栃木県社会福祉協議会からの受託事業等について、事業の目的及び趣旨に基づき適正に実施しました。

## 〔事業の実施状況〕

### 1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり

#### (1) 福祉のこころの醸成と交流活動の促進

##### ①赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動の推進

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動を、多くの市民の参画により実施し、地域福祉事業や福祉施設へ配分金を交付し、市民協働の支えあい助けあい活動を推進した。

##### ア. 赤い羽根共同募金運動（栃木県共同募金会宇都宮市支会）

- ・戸別募金 29,313,077円（133,601戸）
- ・法人募金 2,083,655円（184事業所）
- ・街頭募金 265,992円（13団体）
- ・学校募金 1,917,602円（145校）
- ・職域募金 657,702円（171箇所）
- ・その他の募金 440,350円（76件）

##### イ. 歳末たすけあい募金運動（栃木県共同募金会宇都宮市支会）

- ・戸別募金 19,752,364円（133,601戸）
- ・篤志募金 34,084円（4件）

##### ○配分事業

- ・施設配分 交付額 2,983,496円（104施設）
- ・団体配分 交付額 644,500円（12団体）
- ・地域配分 交付額 7,070,535円（39地区）
- ・地域福祉活動事業配分 交付額 9,308,730円（39地区）

##### 【歳末たすけあい事業配分委員会の開催】

○平成30年8月30日（木）

（報告事項）

- ・平成29年度歳末たすけあい運動実績について
- ・平成29年度歳末たすけあい運動地区別実績について

（協議事項）

- ・平成30年度歳末たすけあい運動配分事業実施要項について
- ・歳末たすけあい運動配分事業平成30年度の検討事項について

##### ②やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会支援の充実

○自主事業「やさしさをはぐくむ“こころの寄り添い”とは～こころに寄り添う、

コミュニケーションについて学ぶ～」の開催

市民や関係機関・団体の方々が相互に相手を思いやり、こころに寄り添い、お互いの心を理解しあうための講話や体験などを通して、人に優しい、心豊かなコミュニケーションを図るうえで必要な知識や技術を学び、やさしさをはぐくむ心の醸成を図ることを目的に開催した。

- ・主 催 宇都宮市やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会
- ・開 催 日 平成31年3月2日（土）
- ・会 場 パルティ（とちぎ男女共同参画センター）
- ・内 容
  - ①「こころに寄り添うコミュニケーションについて」  
講師 NPO 法人栃木県カウンセリング協会 理事長 丸山 隆 氏
  - ②「認知症の方への適切な対応について」  
講師 社会福祉法人とちぎYMCA 福祉会 常務理事 塩澤 達俊 氏
  - ③「高齢者の栄養に配慮した食の学び」  
宅配クックワンスリー（123）
  - ④「FBM（ファシリテーションボールメソッド）体験」  
講師 FBM（ファシリテーションボールメソッド）研究プロジェクト  
代表 谷口 順子 氏
- ・参加団体 8団体
- ・参加人数 59人

### ③宇都宮市民福祉の祭典支援の充実

#### ○第12回宇都宮市民福祉の祭典（宇都宮市民福祉の祭典実行委員会）

- ・主 催 宇都宮市民福祉の祭典実行委員会（宇都宮ボランティア協会・宇都宮市社会福祉協議会・宇都宮市等 計10団体）
- ・開 催 日 平成30年11月23日（金・祝）勤労感謝の日
- ・会 場 総合福祉センター・中央生涯学習センター・まちかど広場  
オリオンスクエア・宇都宮市役所14階大会議室
- ・参加協力団体 70団体（前年比 -5団体）
- ・ボランティア 101人（前年比 +13人）
- ・一般来場者 約10,000人（前年比 +1,000人）
- ・内 容 各種表彰、福祉バザー、模擬店、障がい者の作品展示コーナー、福祉書道展・絵画展、ボランティア相談コーナー、アトラクション、介護相談、スタンプラリー、福祉クイズ、手話・点字・音訳・要約筆記の体験、チャリティマッサージ、車いす体験、福祉車両展示、障がい者スポーツポッチャの紹介・体験、防災グッズ紹介、伝言ダイヤル啓発・体験等  
※福祉バザーや模擬店などで得た収益金及び各参加団体等からの協力金152,181円を「ぎんなん基金」にご寄附いただいた。



## (2) 福祉に関する人材の育成と共育の推進

### ① ボランティア養成の推進

#### ア. 収集ボランティア活動の支援

ボランティア活動へのきっかけづくりを目的に、収集ボランティア活動を支援した。

#### イ. ボランティア体験プログラムの実施

市民等からお預かりしたエコキャップの整理を通し、ボランティア体験プログラムを実施した。

- ・実施回数 計26回 (前年比 +1回)
- ・内 容 エコキャップ整理活動を通し、ボランティア同士の交流を図った。
- ・参加者 延232人 (前年比 -24人)
- ・キロ数 22,492kg (前年比 +211kg)

#### ウ. 各種ボランティア養成講座の実施

講座名	内 容	開催日	開催回数	受講人数(延)	前年比
災害福祉救援ボランティア養成講座	災害時におけるボランティア養成講座	平成30年 6/9、6/16、6/23 6/30、7/7	全5回	47人	+4人
ぼらんていあ Saturday	ボランティア活動への興味・きっかけづくりのための入門講座	平成30年 7/21、7/28、9/1 10/6	全4回	69人	+1人
サマーボランティアスクール	高校生・大学生等を対象にしたボランティア活動のきっかけづくりの入門講座	平成30年 7/26、8/2	全2回	22人	+8人
災害ボランティアフォローアップ講座	災害ボランティア登録者を対象に行うフォローアップ講座	平成30年 8/18	全1回	22人	-6人
傾聴ボランティア養成講座	高齢者に対しての傾聴ボランティアの養成講座	平成30年 9/4、9/11、9/18 9/25	全4回	68人	-6人
福祉共育サポーター養成講座	出前福祉共育講座を支援するサポーターの養成講座	平成31年 2/18、2/25	全2回	35人	+11人

## ②福祉共育講座の充実

### ア. 出前福祉共育講座の実施

- ・実施回数 延115回 (前年比 +17回)  
(手話体験43回、アイマスク体験12回、点字体験36回、盲導犬育成講話6回、  
車いす介助体験14回、ボランティア講話4回)
- ・受講者 延4,166人 (前年比 +375人)

### イ. 福祉共育・ボランティア推進フォーラムの開催

福祉共育やボランティア活動の推進を図ることを目的に開催した。

○オモイツタエル3.11

- ・開催日 平成31年3月9日(土)
- ・開催場所 宇都宮市総合福祉センター
- ・内容 講話「東日本大震災避難者支援のあり方」  
「避難者の“今”の声を聞こう」  
講師 とちぎ暮らしネットワーク 代表 鈴木奈津子 氏 他3人  
グループワーク「いま、私が、私たちが出来ること。必要なこと」
- ・参加者 高校生22人 (前年比 -5人)

## 2. 安心して暮らせる仕組みづくり

### (1) 社会参画の促進

#### ①老人クラブ支援の充実

各地域において、高齢者の介護予防や相互支援に取り組んでいる単位老人クラブ及び地区連絡協議会を支援するとともに、市老人クラブ連合会組織の充実強化と事業の支援を行った。

○クラブ数 308クラブ

○会員数 17,378人

○主な事業

- ・老人クラブ社会奉仕の日(年3回) 延9,043人
- ・宇都宮市老人クラブのつどい 約200人
- ・開催日 平成30年8月27日(月)
- ・会場 宇都宮市文化会館・小ホール
- ・内容 ①式典(優良老人クラブ・老人クラブ育成功労者等の表彰など)  
②講演 「輝けセカンドライフ～シルバーパワーへの期待～」  
講師 佐野日本大学短期大学  
教授 山田 昇 氏
- ・軽スポーツ大会(グラウンドゴルフ、ペタンク、輪投げ)、ゴルフ大会 754人
- ・研修会(女性研修会、新任会長研修会、リーダー研修会) 応急手当講習会 341人
- ・サークル活動発表会 16団体 211人
- ・機関紙の発行(年2回)

## ②地区福祉まつり支援の充実

地区社会福祉協議会が、地域の関係機関等と協働して開催した地区福祉まつりの開催費用の一部を助成した。(助成総額 250,000 円)

・昭和地区	50,000円
・宮の原地区	50,000円
・横川地区	50,000円
・雀宮地区	50,000円
・富屋地区	50,000円

## ③男性高齢者調理講習会事業の充実

おおむね65歳以上の男性を対象に、自立した心豊かな生活がおくれるよう調理法を学ぶとともに、同世代の方々の仲間づくりや交流を図るために、地区社会福祉協議会が開催した調理講習会の開催費用の一部を助成した。(助成総額 366,768 円)

・東地区	6回開催	参加者	延 32人
・西地区	2回開催	参加者	延 22人
・昭和地区	41回開催	参加者	延341人
・城山地区	2回開催	参加者	延 32人
・宮の原地区	6回開催	参加者	延 54人
・瑞穂野地区	6回開催	参加者	延 84人
・篠井地区	1回開催	参加者	延 13人
・豊郷地区	5回開催	参加者	延 95人
・河内地区	2回開催	参加者	延 30人
合計	71回開催	参加者	延703人 (前年比+27人)

## (2) 情報提供体制の充実

### ①総合相談センター機能の強化

地域住民が抱える生活・福祉問題等の様々な心配ごとや悩みごとの相談に応じられるよう、「総合相談センター」を開設した。(総事業費 4,059,176 円)

#### ○相談内容

種 別	件 数	種 別	件 数
生計問題	55件	財産問題	29件
年金問題	1件	交通事故問題	2件
職業・生業問題	24件	児童福祉・母子保健問題	0件
住宅問題	32件	教育・青少年問題	2件
家族問題	129件	心身障がい者福祉問題	5件
結婚問題	1件	ひとり親福祉問題	1件
離婚問題	6件	高齢者福祉問題	13件
健康・衛生問題	15件	苦情問題	45件
医療問題	13件	その他	106件
精神衛生問題	274件	合 計	761件
人権・法律問題	8件		(前年比+127件)

※開設回数 延359回 (うち 特別相談日46回、巡回相談日68回)

- ・生活福祉相談 月～金曜日
- ・巡回相談 毎月各1回
  - 第1木曜日：ことぶき会館
  - 第2木曜日：ふれあい荘
  - 第3木曜日：やすらぎ荘
  - 第4木曜日：すこやか荘
  - 第1火曜日：河内総合福祉センター
  - 第2火曜日：上河内老人福祉センター
- ・特別相談 毎月各1回
  - 第3火曜日：法律相談
  - 第3水曜日：心身障がい者相談
  - 第3木曜日：更生相談
  - 第3金曜日：精神保健福祉相談

## ②地域福祉に関する広報・周知・啓発等による情報発信の充実

### ア. 広報紙の発行

定期的に福祉情報等の提供を行い、市民に社会福祉協議会の活動内容の理解を深めてもらうため、広報紙「うつのみや社協だより」を発行した。

- ・第168号 平成30年 4月20日発行 21,000部
- ・第169号 平成30年 7月 1日発行 21,000部
- ・第170号 平成30年10月 1日発行 21,000部
- ・第171号 平成31年 2月 1日発行 21,000部

### イ. ホームページの充実

福祉に関する情報や社協の事業など、市民等がより見やすく使いやすいホームページの運用に努めた。

### ウ. 福祉に関する情報発信機能の充実

老人福祉センター（5施設）、地域活動支援センター（3施設）、総合福祉センター（2施設）を地域の福祉拠点として、福祉情報の提供及び地域福祉事業等の推進を図った。

- ・総合相談センター巡回相談の開設
- ・各種地域福祉講座・講習会等の福祉情報の提供
- ・車いす等の福祉機器の貸出

### (3) 組織体制の強化

#### ①会務の運営

##### 【理事会の開催】

○平成30年5月17日（木）

（報告事項）

- ・宇都宮市社会福祉協議会会長職務の執行状況について

（議 事）

- ・宇都宮市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について
- ・宇都宮市社会福祉協議会第3次収支補正予算について
- ・平成29年度宇都宮市社会福祉協議会事業報告について
- ・平成29年度宇都宮市社会福祉協議会収支決算について
- ・宇都宮市社会福祉協議会評議員会の招集について

○平成30年10月24日（水）

（報告事項）

- ・宇都宮市社会福祉協議会会長職務の執行状況について

（議 事）

- ・宇都宮市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について
- ・宇都宮市社会福祉協議会指定訪問介護事業運営規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会河内事業所指定通所介護事業所運営規程の一部改正について
- ・平成30年度宇都宮市社会福祉協議会収支補正予算について
- ・宇都宮市社会福祉協議会評議員会の招集について

○平成31年3月6日（水）

（議 事）

- ・社会福祉法人宇都宮市社会福祉協議会表彰規程の一部改正について
- ・平成30年度宇都宮市社会福祉協議会第2次収支補正予算について
- ・平成31年度宇都宮市社会福祉協議会事業計画について
- ・平成31年度宇都宮市社会福祉協議会収支予算について
- ・宇都宮市社会福祉協議会評議員会の招集について

##### 【監事会の開催】

○平成30年5月9日（水）

（監 査）

- ・平成29年度事業執行及び会計処理について

##### 【評議員会の開催】

○平成30年6月6日（水）

（議 事）

- ・宇都宮市社会福祉協議会理事の選任について
- ・平成29年度宇都宮市社会福祉協議会第3次収支補正予算について
- ・平成29年度宇都宮市社会福祉協議会事業報告について
- ・平成29年度宇都宮市社会福祉協議会収支決算について
- ・第4次宇都宮市地域福祉活動計画について

○平成30年11月13日（火）

（議 事）

- ・平成30年度宇都宮市社会福祉協議会収支補正予算について

○平成31年3月22日（金）

（議 事）

- ・平成30年度宇都宮市社会福祉協議会第2次収支補正予算について
- ・平成31年度宇都宮市社会福祉協議会事業計画について
- ・平成31年度宇都宮市社会福祉協議会収支予算について

**【評議員選任・解任委員会の開催】**

○平成30年5月23日（水）

（議 事）

- ・宇都宮市社会福祉協議会評議員の選任について

○平成30年10月31日（水）

（議 事）

- ・宇都宮市社会福祉協議会評議員の選任について

**②苦情解決体制**

福祉サービス等についての苦情に対し、各部署・施設等に苦情受付窓口を設けるとともに、第三者委員を設置し、社会性や客観性の確保を図りながら、円滑で円満に問題を解決するための体制を整え、適切に対応した。

**【第三者委員会の開催】**

○平成30年10月5日（金）

（報告事項）

- ・宇都宮市社会福祉協議会における苦情解決システムの概要について
- ・宇都宮市社会福祉協議会事業概要について
- ・平成29年度苦情の状況について

苦情件数 15件

（前年比 +3件）

- ・職員の対応・接遇に関すること 8件
- ・福祉サービスに関すること 1件
- ・施設の管理・利用に関すること 5件
- ・その他 1件

#### (4) 様々なニーズに応じたサービスの提供

##### ①法人後見事業の実施

認知症や知的障がいなどの理由により、判断能力が不十分な方々の権利を尊重するため、法人後見事業を行った。

- ・法人後見受任 7件（後見類型6件、補助類型1件）（前年比 -1件）
- ・相談件数 56件（前年比 -2件）

##### 【法人後見運営委員会の開催】

○平成31年3月20日（水）

（報告事項）

- ・受任案件の経過について
- ・平成30年度法人後見事業実施報告について

##### ②介護保険事業等の充実

##### ア. 訪問介護事業の運営

（総事業費 34,955,381円）

要介護者がその有する機能に応じ、居宅において可能な限り自立した日常生活を営むことが出来るよう、訪問介護サービスを実施した。

・介護度別利用者内訳（延人数、延利用回数）

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
計	165人	158人	79人	24人	27人	453人
	1,288回	1,981回	545回	120回	488回	4,422回

（前年比-10人、-427回）

・サービス種別内訳（延利用回数）

区分	生活援助	身体・生活	身体介護	合計
計	2,915回	918回	1,424回	5,257回

（前年比+408回）

##### ○介護予防訪問介護事業

要支援者が要介護状態になることを予防し、居宅において自立した日常生活を営むことが出来るよう、介護予防訪問介護サービスを実施した。

・介護度別利用者内訳（延人数、延利用回数）

区分	要支援1	要支援2	事業対象者（※）	合計
計	154人	339人	64人	557人
	758回	2,471回	207回	3,436回

（前年比+12人、+540回）

（※）事業対象者：介護保険非該当者と判定された方や地域包括支援センターが行う基本チェックリストにより、生活困窮機能の低下がみられた方。

イ. 通所介護事業の運営【河内事業所で実施】 (総事業費 23,201,429 円)

要介護者がその有する機能に応じ、居宅において可能な限り自立した日常生活を営むことが出来るよう、通所介護サービスを実施した。

・介護度別利用者内訳 (延人数、延回数)

区分	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
計	62 人	72 人	15 人	16 人	0 人	165 人
	713 回	460 回	198 回	173 回	0 回	1,544 回

(前年比-8 人、+127 回)

○介護予防通所介護事業【河内事業所で実施】

要支援者が要介護状態になることを予防し、居宅において自立した日常生活を営むことが出来るよう、介護予防通所介護サービスを実施した。

・介護度別利用者内訳 (延人数、延利用回数)

区分	要支援 1	要支援 2	事業対象者 (※)	合計
計	0 人	41 人	2 人	43 人
	0 回	290 回	16 回	306 回

(前年比±0 人、+7 回)

(※) 事業対象者：介護保険非該当者と判定された方や地域包括支援センターが行う基本チェックリストにより、生活困窮機能の低下がみられた方。

ウ. 居宅介護支援事業の運営 (総事業費 12,420,382 円)

要介護者が、居宅において自立した生活を営むために必要な居宅サービス等を適切に受けられるよう、居宅サービス計画や相談援助を実施した。

・介護度別居宅サービス計画作成内訳 (延件数)

区分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
計	91 件	172 件	213 件	259 件	93 件	41 件	40 件	909 件

(前年比-77 件)

エ. 障がい福祉サービスの運営 (総事業費 7,082,417 円)

居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、障害者総合支援法に基づき、障がい福祉サービス (居宅介護・生活介護) を実施した。

・居宅介護 (ホームヘルプサービス) (延人数、延利用回数)

区分	利用者数	利用回数
計	195 人	1,858 回

(前年比 -3 人)

・生活介護 (デイサービス) (延人数、延利用回数)

区分	利用者数	利用回数
計	400 人	400 回

(前年比 +54 人)



### ③指定特定相談支援事業所・障害児相談支援事業所の運営

障がい児・者の「サービス等利用計画・障害児利用支援計画」について、計画作成およびモニタリングや相談支援を実施した。

・利用者内訳（延件数）

区分	計画作成	モニタリング
指定特定相談支援	93件	136件
指定障害児相談支援	14件	6件
計	107件	142件

（前年比 計画作成－1件、モニタリング＋13件）

### ④福祉車両貸出サービス事業の推進

身体機能の低下や障がいなどにより公共交通機関の利用が困難な方に、通院や各種行事等への参加のために、車いすのまま乗降できる福祉車両を貸し出した。

・貸出件数 延92件（稼働日117日） （前年比 －19件）

### ⑤福祉機器（車いす等）貸出事業の推進

病院などからの一時帰宅や怪我、旅行などで一時的に車いす等が必要となった方などへ、市内9か所において原則3ヵ月を限度に貸し出した。

・貸出件数 延467件（車いす、歩行器等） （前年比 －6件）

### ⑥福祉理美容出張費補助サービス事業の推進

理美容店に出向くことが困難な65歳以上の在宅の寝たきり高齢者に対して、散髪を行った際の出張費の補助を行った。

（総事業費 394,500円）

・申請者 110人  
 ・利用件数（補助券） 263枚 （前年比 －13枚）  
 ・チケット発行枚数 521枚

### ⑦ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進

おおむね70歳以上で近隣に近親者のいないひとり暮らし高齢者の家庭に乳酸飲料を配達し、手渡しすることにより、安否の確認と孤独感の解消を図った。

（総事業費 3,740,940円）

・利用者 延4,587人 （月平均 382人）  
 ・配達本数 延53,442本 （前年比 －861本）  
 ・状況確認 34件（配達時に不在のため詳細を確認）  
 ・緊急対応 1件

### ⑧福祉機器・介護用品展示室の開設

寝たきり高齢者等の介護者に、介護を容易にするための福祉機器及び介護用品等の情報を提供するため、福祉機器・介護用品展示室を開設した。

・利用者数 延110人 (前年比 +2人)

### ⑨社会福祉資金貸付事業

貸付債権の管理を行った。

・完了件数 2件 (前年比 ±0件)  
・累積貸付件数 2件 (前年比 -2件)

### ⑩各種事業に対する共催・後援

各団体等が開催する事業に対し、共催・後援を行った。

・共催 0件 (前年比 ±0件)  
・後援 30件 (前年比 -3件)

## 3. 地域で支えあうまちづくり

### (1) 共に支えあう地域づくり

#### ①コミュニティワークの推進

地区担当職員（コミュニティワーカー）を配置し、地域の生活・福祉課題の把握や課題の解決方法、さらに社会資源の点検や新たな社会資源の開発等を関係機関・団体等と連携・協働で行える体制づくりに努めると共に、地域住民が主体的に地域福祉事業（活動）に参画できるよう支援した。

・地区担当職員（コミュニティワーカー）配置数：6人

#### ②地区社会福祉協議会支援の充実

##### ○地区社協会長研修会の開催

・期 日 平成30年11月28日（水）～29日（木）  
・視察地 hikari no café 蜂巢小珈琲店  
・研修テーマ 「地区社協活動発表会」～実は知らない、ほんとは知りたい活動事例～

①テーマ：住民主体の福祉活動を推進するには

②内容：事例発表（石井地区、瑞穂野地区）

パネルディスカッションによる公開討論

#### ③ふれあい・いきいきサロン事業の推進

ひとり暮らし高齢者などの居場所を確保し、地域ぐるみで見守り・支援を行う「ふれあい・いきいきサロン」の設置を促進した。

・39地区 282か所 (ふれあい・いきいきサロン助成金 6,638,000円)

(サロン健康増進事業助成金 397,808 円)

#### ④ふれあい・いきいきサロン連絡会の開催

ふれあい・いきいきサロン連絡会の会員を対象に研修会を開催するとともに、サロン間の情報交換を行った。

##### 【共通テーマ】

- ・内 容 ①基調講話：「子どもたちの食べる、学ぶ、安心を支える拠点を市民の力でつくる」  
講師 一般社団法人栃木県若年者支援機構 荻野 友香里 氏
- ②グループワーク  
テーマ1 「サロンの良いところと悩んでいること」  
テーマ2 「子どもの居場所～地域の子どもたちに向けた交流や取り組み～」

##### ・南部ブロック研修会

開催日 平成30年11月5日（月）

参加者 87人

##### ・北部ブロック研修会

開催日 平成30年11月6日（火）

参加者 96人

##### ・中央ブロック研修会

開催日 平成30年11月7日（水）

参加者 46人

##### ・西部ブロック研修会

開催日 平成30年11月8日（木）

参加者 74人

##### ・東部ブロック研修会

開催日 平成30年11月9日（金）

参加者 76人

#### ⑤安心・安全情報キット配付事業の推進

在宅の高齢者及び障がい者等に対し、緊急時における救急隊などの支援者への速やかな対応と、日常における地域での見守り活動を促進するため、かかりつけ医や持病、緊急連絡先などを確認できる「安心・安全情報キット」を配付した。

- ・12地区 1,262本（累計39地区 延20,213本）

⑥自治会・民生委員児童委員協議会・まちづくり推進協議会・地域包括支援センター等  
関係機関等との連携・協働の推進

市社会福祉協議会及び地区社会福祉協議会が取り組む福祉協力員活動やひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業などにおいて、自治会、民生委員児童委員協議会、地域包括支援センターなどの関係機関との連携・協働を進めた。

⑦ボランティアセンター機能の充実

市民のボランティアに関する理解を深め、関心を高めるとともに、近隣の住民同士が助けあうことを基本としたボランティア活動の推進を図るため、ボランティアセンターの運営を行った。

(総事業費 4,007,022 円)

ア. ボランティアの相談・登録・調整の充実

ボランティアの発掘及び育成支援を目的に、ボランティア相談並びにマッチング（調整）に努めた。

・各種相談・問合せ	12,465件	(前年比 +339件)
・ボランティア活動調整件数	669件	(前年比 +18件)
・ボランティア登録数(団体)	360団体	12,066人 (前年比 +13団体 -532人)
(個人)	37人	(前年比 +1人)

イ. ボランティア団体への活動支援の推進

○宇都宮ボランティア協会への助成

宇都宮ボランティア協会に助成金を交付し、活動を支援した。

助成額：250,000円

○ボランティア活動用機材の貸出

登録しているボランティア団体・個人を対象に、活動に必要な機材の貸出しを行い、活動を支援した。

・貸出件数	延162件	(前年比 +33件)
(パソコン、液晶プロジェクター、テレビデオ、スクリーン等)		

○ボランティアルームの貸出

登録しているボランティア団体・個人を対象に、活動場所となる部屋の貸出しを行い、活動を支援した。

・利用件数	延224団体	1,706人	(前年比 +14団体、+179人)
-------	--------	--------	-------------------

○ボランティアロッカーの貸出

登録しているボランティア団体を対象に、ロッカーの貸出しを行い、活動を支援した。

・利用団体数	36団体	(前年比 ±0団体)
--------	------	------------

## ○対面朗読サービスの実施

視覚障がいのある方等に対して、書籍・新聞など本人が希望する文書を対面にて読み上げる朗読サービスを、音訳ボランティアの協力により実施した。

・実施回数	20回	(前年比 ±0回)
(利用者の希望により調整)		
・利用者数	延44人	(前年比 -10人)
・協力ボランティア数	延44人	(前年比 +5人)

## ○出前福祉共育講座連絡会

出前福祉共育講座の実施に協力を得ている講師等との交流会を開催し、講座プログラムの開発を検討した。

・開催日	平成31年1月15日(火)	
・参加者	12人(視覚障がい者・聴覚障がい者講師・アシスタント)	(前年比 ±0人)
・内容	「出前福祉共育講座」プログラムについて検討	

## ⑧災害ボランティア活動等の実施

### ○宇都宮市総合防災訓練

災害ボランティアセンターの迅速な設置とボランティアの機能的・効率的な受入を行うため、総合防災訓練に参加し、設置運営訓練を行った。

・実施日	平成30年8月18日(土)	宇都宮市城址公園	31人
(宇都宮ボランティア協会、災害ボランティア養成講座修了生と協働で実施)			

## ⑨ファミリーケアサービス事業の充実

日常生活を営むうえで支援が必要な高齢者や障がい者等の世帯(利用会員)に対し、協会員が有償で家事援助などのサービスを提供した。(総事業費 3,314,901円)

・利用会員	55人	(前年比 -3人)
・協会員	19人	(前年比 -8人)
・利用件数	2,052件	(前年比 -195件)
・利用時間	2,711時間	(前年比 -363時間)
・サービス内容	掃除、食事の準備、洗濯、買い物、外出時の付き添い等	

## ⑩ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の促進

ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業を実施した地区社会福祉協議会に対し、事業費の一部を助成した。

ア. 39地区社協(全地区)へ助成 (助成総額 9,178,400円)

### イ. 食中毒・食品衛生講習会の開催

ふれあい会食事業に携わる地区の方々を対象に、食への安全・安心を図るため保健所による食中毒・食品衛生指導を受け、地区社協の事例をもとに会食事業を実施するうえでの工夫等を学んだ。

・開催日	平成30年7月20日(金)	
・参加者	103人	(前年比 -12人)

(2) 市民の主体的な地域活動への支援

①第4次宇都宮市地域福祉活動計画の推進

第4次宇都宮市地域福祉活動計画を推進するとともに、計画の進行管理を行うため、運営委員会を開催した。

【地域福祉事業運営委員会の開催】

○平成31年3月5日(火)

(協議事項)

- ・第4次宇都宮市地域福祉活動計画の進捗状況について

②福祉のまちづくり計画(小地域福祉活動計画)策定の支援

地域の生活・福祉課題の解決を図ることや住民の地域福祉活動への積極的な参画の促進を目的に、4地区において、地域の関係機関・団体と連携しながら「住民座談会」の開催や「住民アンケート」の実施、「福祉のまちづくりマップ」の作成など、福祉のまちづくり計画(小地域福祉活動計画)の策定に向けての取り組みを支援した。

- ・実施地区 平石地区、河内地区、瑞穂野地区、泉が丘地区  
(策定済み地区) 瑞穂野地区、平石地区

③福祉協力員制度の推進

小地域福祉ネットワーク活動を推進するため、福祉協力員を委嘱するとともに、福祉協力員連絡会の支援及び活動費の助成を行った。

(助成総額 4,329,000円)

○地区別 福祉協力員数

地区	協力員数	地区	協力員数	地区	協力員数
中央	39人	清原	97人	瑞穂野	38人
東	57人	桜	66人	雀宮	103人
西	47人	宝木	64人	五代若松原	38人
築瀬	13人	富士見	69人	御幸	37人
西原	47人	明保	33人	御幸ヶ原	43人
昭和	53人	城山	57人	篠井	11人
錦	39人	姿川	182人	富屋	17人
城東	37人	戸祭	68人	国本	58人
今泉	48人	細谷	74人	豊郷	159人
泉が丘	50人	陽南	54人	上河内	46人
峰	51人	緑が丘	69人	河内	167人
平石	23人	陽光	50人	合計	2,489人 (前年比 +22人)
石井	180人	宮の原	41人		
陽東	46人	横川	118人		

## ○ブロック別福祉協力員研修会の開催

福祉協力員活動の推進と充実を図ることを目的に、ブロックごとに福祉協力員研修会を開催した。

### 【共通テーマ】

- ・内容 ①基調講話：「これからの福祉協力員活動」～“地域包括ケアシステム”とは？  
その内容と活動事例～

講師 宇都宮市高齢福祉課 地域包括ケア推進室

- ②活動事例発表

### ・中央ブロック研修会

開催日 平成30年6月26日（火）

参加者 76人

### ・南部ブロック研修会

開催日 平成30年6月27日（水）

参加者 192人

### ・北部ブロック研修会

開催日 平成30年6月28日（木）

参加者 122人

### ・東部ブロック研修会

開催日 平成30年6月29日（金）

参加者 166人

### ・西部ブロック研修会

開催日 平成30年7月3日（火）

参加者 151人

## ○福祉協力員表彰式

長年に渡り活動を続けていただいた福祉協力員に対し、市社会福祉協議会会長表彰を行い、その功績を称えた。（ブロック別福祉協力員研修会と併せて開催）

- ・受賞者 19地区 89人

④社会福祉協議会会員制度の充実

地域福祉事業を推進するための自主財源（会員会費）の確保に努めた。（単位：円）

地 区	合 計		地 区	合 計			
	会 員 数	会 費		会 員 数	会 費		
中央ブロック	中 央	1,395	418,500	南部ブロック	陽 南	2,876	862,900
	東	1,521	463,400		緑が丘	2,444	749,500
	西	1,826	556,400		陽 光	1,049	314,750
	築 瀬	1,683	504,900		宮の原	1,610	483,150
	西 原	1,414	425,600		横 川	5,248	1,674,178
	昭 和	1,341	402,450		瑞穂野	1,789	536,751
	錦	1,365	417,200		雀 宮	9,383	2,064,900
東部ブロック	城 東	1,603	481,185	五代若松原	1,909	445,500	
	今 泉	1,381	414,400	北部ブロック	御 幸	1,521	456,450
	泉が丘	2,077	623,201		御幸ヶ原	2,127	639,800
	峰	1,951	585,596		篠 井	714	219,800
	平 石	745	223,500		富 屋	852	255,850
	石 井	3,091	927,300		国 本	3,552	1,065,600
	陽 東	1,713	515,362		豊 郷	9,164	2,749,476
清 原	6,477	2,277,600	上河内		2,199	659,900	
西部ブロック	桜	1,605	481,700	河 内	7,644	2,293,250	
	宝 木	3,579	1,074,420	賛助・特別・団体会費	375	3,026,000	
	富士見	3,379	1,013,750	合 計	108,973	35,248,539	
	明 保	1,333	400,000				
	城 山	3,148	944,600				
	姿 川	5,551	1,665,400				
	戸 祭	3,007	926,100				
細谷・上戸祭	3,332	1,008,220					

※過去5年間における会費の状況

(単位：円)

年度 区分		平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
		合 計	会員数	108,973	108,677	106,817
会 費	35,248,539		35,459,772	35,373,645	35,819,694	36,127,074
会費前年度比		-211,233	+86,127	-446,049	-307,380	-460,561



## ⑤ ぎんなん基金事業の充実

ぎんなん基金への寄附金を受け入れて、基金の造成に努めた。

- ・ 寄附状況 1, 017件（企業、団体、個人、募金箱等） 3, 178, 340円  
（前年比 +144件、-1,039,910円）

### 【ぎんなん基金運営委員会の開催】

○平成30年12月21日（金）

（報告事項）

- ・ ぎんなん基金の現状と課題について
- ・ 基金の運用に関するアンケート調査結果について

（協議事項）

- ・ ぎんなん基金の効果的運用に向けた今後の取り組みについて

○平成31年2月15日（金）

（報告事項）

- ・ 平成30年度ぎんなん基金の状況について
- ・ 平成30年度ぎんなん基金の取組み実績及び取組み課題について

（協議事項）

- ・ 平成31（2019）年度ぎんなん基金の取り組みについて

## ⑥ 善意銀行事業の促進

○金銭・物品の預託・払い出しの実施

項目	金額	前年比	備考
前年度繰越金	2,892,295円	-1,220,260円	
預託金受入	138,300円	-157,018円	内高齢者地域活動等 支援ポイント事業参 加者からの預託金 73,100円
使用済み切手換金	66,605円	-40,770円	
プルタブ換金	37,972円	+2,721円	
未使用・書き損じハガキ換金	0円	±0円	
入れ歯リサイクル換金	0円	-5,530円	
預託合計	3,135,172円	-1,420,857円	

預託金払出	30,000円	-145,000円 (-1件)	預託者の指定 (2件)
	160,000円	+40,000円 (+4件)	火災見舞金 (16件)
払出合計	190,000円	-105,000円	
事業費支出	51,464円	-1,317,270円	
次年度繰越金	2,893,708円	+1,413円	

○預託・収集物品

- ・預託品 39件 (車いす、衣類、タオル等) (前年比 +3件)
- ・収集物品 141件 (使用済み切手・テレホンカード、プルタブ等) (前年比 +27件)
- ・払い出し 36件 (衣類、タオル等) (前年比 +15件)

⑦敬老会開催の支援

地区社会福祉協議会、宇都宮市、市社会福祉協議会の共催により開催した敬老会の開催費用の一部を助成した。

- ・39地区社協(全地区)へ助成 (助成総額 4,979,730円)

4. 指定管理施設等の管理・経営

(1) 指定管理施設の管理・経営

①老人福祉センターの管理・経営(5施設)

ことぶき会館・ふれあい荘・やすらぎ荘・すこやか荘・上河内老人福祉センター

(指定管理期間 平成26年4月1日～平成31年3月31日)

(総運営費 212,159,022円)

ア. ことぶき会館

○利用状況

- ・開館日数 293日 (前年比 +1日)
- ・利用者数 延85,292人 1日平均291人 (前年比+277人)

(延人数)

区 分		内 訳
送迎バス利用者		6,659人
教養講座		12講座 297回 9,756人
健康相談等	血圧測定	7,206人
	健康相談	1,633人
	応急処置	11人
	健康器具利用	34,637人

○年間行事等

- ・ことぶき文化祭の開催 平成30年10月13日(土)～14日(日)
- ・ことぶき健康みんなの大学(健康講話、健康チェック、肩こり・腰痛体操教室)の開催 44回
- ・ボランティア団体等の受入(緑化ボランティア)
- ・自主グループの活動発表(民謡発表会)

## イ. ふれあい荘

### ○利用状況

- ・開館日数 292日 (前年比 +2日)
  - ・利用者数 延46,544人 1日平均159人 (前年比 +97人)
- (延人数)

区 分		内 訳
送迎バス利用者		1,597人
教養講座		12講座 254回 4,000人
健康相談等	血压測定	3,976人
	健康相談	340人
	応急処置	18人
	健康器具利用	14,639人

### ○年間行事等

- ・ふれあい文化祭の開催 平成30年10月18日(木)～19日(金)
- ・花見演芸大会 1回
- ・納涼演芸大会 1回
- ・健康講話の開催 1回
- ・囲碁将棋自主講座交流大会の開催 1回
- ・ボランティア団体等の受入(映画鑑賞会)

## ウ. やすらぎ荘

### ○利用状況

- ・開館日数 293日 (前年比 +1人)
  - ・利用者数 延44,366人 1日平均151人 (前年比 +2,589人)
- (延人数)

区 分		内 訳
送迎バス利用者		2,928人
教養講座		15講座 356回 7,792人
健康相談等	血压測定	3,369人
	健康相談	613人
	応急処置	8人
	健康器具利用	21,940人

○年間行事等

- ・やすらぎ祭の開催 平成30年10月28日(日)～10月29日(月)
- ・健康講話の開催 1回
- ・敬老の日 地域中学校演奏会及び交流会の開催
- ・地域小学校との交流会の開催
- ・やすらぎ荘演芸大会の開催
- ・ボランティア団体等の受入(映画鑑賞会、民話発表等)

エ. すこやか荘

○利用状況

- ・開館日数 292日 (前年比 -1日)
  - ・利用者数 延62,705人 1日平均214人 (前年比 -2,477人)
- (延人数)

区 分		内 訳
送迎バス利用者		6,668人
教養講座		13講座 299回 9,213人
健康相談等	血圧測定	1,315人
	健康相談	1,185人
	応急処置	42人
	健康器具利用	31,187人

○年間行事等

- ・すこやか荘文化祭の開催 平成30年11月9日(金)～10日(土)
- ・地域幼稚園との世代間交流事業の開催 1回
- ・ボランティア団体等の受入(軽音楽演奏会)
- ・健康講話の開催 1回

オ. 上河内老人福祉センター

○利用状況

- ・開館日数 248日 (前年比 +3日)
  - ・利用者数 延7,903人 1日平均31人 (前年比+656人)
- (延人数)

区 分		内 訳
教養講座		11講座 129回 1,512人
健康 相談 等	血圧測定	674人
	健康相談	674人
	応急処置	0人
	健康器具利用	1,250人

○年間行事等

- ・上河内老人福祉センターまつりの開催 平成30年10月20日(土)

②地域活動支援センターの管理・経営(3施設)

雀の宮作業所・若草作業所

(指定管理期間 平成26年4月1日～平成31年3月31日)

(総運営費 46,637,354円)

ア. 雀の宮作業所

○利用状況

- ・開所日数 244日 (前年比 ±0日)
- ・利用登録者数 17人 (前年比 ±0人)
- ・利用者数 延3,092人 (前年比 -221人)

イ. 若草作業所

○利用状況

- ・開所日数 244日 (前年比 ±0日)
- ・利用登録者数 13人 (前年比 -2人)
- ・利用者数 延2,599人 (前年比 -65人)

○生産活動の機会の提供(雀の宮作業所、若草作業所)

電機部品の組立、菓子箱の組立、文書の封筒詰め及びシール貼り、各種製品箱詰め及び袋詰め、ダンボール製品組立、ダイレクトメール封入作業等

○社会参加・自立促進（雀の宮作業所、若草作業所）

- ・ 野外レクリエーション、社会適応訓練、社会見学、クリスマス会等の開催
- ・ 宇都宮市民福祉の祭典、うつのみやふれあい文化祭、うつのみやふれあいスポーツ大会等への参加

ウ. 障がい者福祉センター

（指定管理期間 平成 26 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

（総運営費 38,248,000 円）

【講座事業】

○利用状況

- ・ 利用登録者数 延 1 0 6 人 (前年比 -11 人)

(延人数)

区 分	内 訳
講座事業	1 5 講座 3 7 1 回 3, 0 2 3 人

○年間行事等

- ・ 地域活動支援センターとの交流会の開催 2 回
- ・ うつのみやふれあい文化祭、宇都宮市民福祉の祭典、カルフルとちぎへの参加
- ・ 作品展の開催（うつのみやふれあい文化祭、市民プラザ、松ヶ峰ギャラリー、宇都宮市民福祉の祭典、市役所市民ホール）
- ・ 出前講座（パンフラワー短期講座）の開催 2 回
- ・ わくわくアートコンクール in うつのみや
 

審査委員特別賞	1 人受賞
審査委員長賞	1 人受賞
わく・わく賞	3 人受賞

【地域活動支援センター事業】

○利用状況

- ・ 利用登録者数 1 3 人 (前年比 +2 人)

○年間行事等

- ・ 野外療育訓練の開催 1 回
- ・ 講座事業との交流会の開催 2 回
- ・ 宇都宮市民福祉の祭典への参加
- ・ 音楽療法、買い物訓練、レクリエーション等の実施
- ・ 外食訓練、料理実習の実施

【医療生活相談】

○相談状況

- ・ 開催回数 4 回 (前年比 -1 回)
- ・ 利用者数 4 人 (前年比 -2 人)

③総合福祉センターの管理・経営（2施設）

宇都宮市総合福祉センター（指定管理期間 平成26年4月1日～平成31年3月31日）

河内総合福祉センター（指定管理期間 平成26年4月1日～平成31年3月31日）

ア. 宇都宮市総合福祉センター

（総運営費 76,234,247円）

○利用状況

・開館日数 319日 （前年比 +2日）

（延人数）

区 分	内 訳	
会議室等利用者	64,963人	（前年比 +4,204人）
	4,089団体	（前年比 -21団体）
健康器具利用	4,415人	（前年比 +839人）

イ. 河内総合福祉センター

（総運営費 57,287,000円）

○利用状況

・開館日数 295日 （前年比 +4日）

（延人数）

区 分	内 訳	
会議室等利用者	10,327人	（前年比 -1,104人）
	499団体	（前年比 -30団体）
大広間等利用者	21,689人	（前年比 -5,517人）
浴室利用者	60歳以上	12,956人
	60歳未満	100人
	障がい者	1,328人
	子ども	14人
健康器具利用	11,086人	（前年比 -2,041人）
送迎バス利用者	1,179人	（前年比 -284人）

※1 会議室等利用状況は、団体室・ボランティア室・朗読室含む

## (2) 市からの受託事業等の実施

### ①障がい者生活支援センター事業の実施

宇都宮市障がい者生活支援センター（平成 14 年 10 月 1 日受託）

（総事業費 17,922,005 円）

- ・相談支援を利用している障がい者（児）の数 延 1, 132 人（前年比 +51 人）
- ・相談件数 延 2, 234 件（前年比 -161 件）
- ・個別支援会議 26 回開催（前年比 +15 回）

### ②地域包括支援センター事業の実施

ア. 地域包括支援センター御本丸（平成 18 年 4 月 1 日受託）

（総事業費 32,227,743 円）

#### ○担当地区

中央地区、築瀬地区、城東地区

#### ○総合相談支援事業

- ・相談者数 延 475 人（前年比 -16 人）

#### ○地域ケア会議の開催

- ・中央地区全体 4 回
- ・築瀬地区全体 1 回
- ・城東地区全体 1 回
- ・単位自治会ごと 14 回

#### ○介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業

- ・介護予防支援プラン作成 延 862 件  
（うち、居宅介護支援事業所委託 500 件）
- ・介護予防ケアマネジメントプラン作成 延 1, 317 件  
（うち、居宅介護支援事業所委託 555 件）

#### ○介護予防教室の開催

- ・中央地区 12 回
- ・築瀬地区 12 回
- ・城東地区 12 回

#### ○家族介護教室の開催

- ・認知症の人との接し方 延 3 回

#### ○ひとり暮らし安心ネットワーク事業

- ・安否確認 延 24 回（対象者：2 人）

#### ○地域介護予防活動支援事業

- ・対象グループなし



イ. 上河内地域包括支援センター(平成19年4月1日受託)

(総事業費 24,741,475 円)

○担当地区

- ・上河内地区

○総合相談支援事業

- ・相談者数 延223人 (前年比 -80人)

○地域ケア会議の開催

- ・上河内地区 3回 ・個別会議 5回

○介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業

- ・介護予防支援プラン作成 延381件  
(うち、居宅介護支援事業所委託 186件)
- ・介護予防ケアマネジメントプラン作成 延421件  
(うち、居宅介護支援事業所委託 152件)

○介護予防教室の開催

- ・上河内地区 36回

○家族介護教室の開催

- ・介護知識、技術習得のための講話及び講習等の開催 延1回

○ひとり暮らし安心ネットワーク事業

- ・安否確認 延14回 (対象者: 1人)

○地域介護予防活動支援事業

- ・介護予防教室等の修了者に対する自主グループ支援 1団体 延2回

【事業経営委員会の開催】

○平成31年2月15日(金)

(報告事項)

- ・平成30年度指定管理施設及び介護保険事業等の経営状況について

(協議事項)

- ・平成31(2019年度)指定管理施設及び介護保険事業等の取り組みについて

③日中一時支援事業の実施

(総事業費 16,758,204 円)

- ・あっとほーむ・うだい (放課後支援型 平成19年7月12日受託)
- ・あっとほーむ・すずめ (放課後支援型 平成16年4月1日受託)
- ・あっとほーむ・かわち (放課後支援型 平成22年4月1日受託)
- ・河内地域活動支援事業所 (日中支援型 平成19年5月24日受託)

○施設別内容

施設名	区 分	開所日数	定 員 (1日あたり)	利用者延人数
あつとほ一む・うだい	放課後支援型	233日	10人	1,478人
あつとほ一む・すずめ	放課後支援型	244日	10人	704人
あつとほ一む・かわち	放課後支援型	244日	10人	594人
河内地域活動支援事業所	日中支援型	244日	5人	710人
合 計				3,486人

(前年比 -664人)

④障がい者福祉バス事業の実施（昭和54年5月1日受託）

障がい者の社会参加を促進するため、福祉バスの運行を行った。

(総事業費 9,784,398円)

○利用状況

- ・稼働日数 200日 (前年比 +11日)
- ・利用団体数 延200団体 (前年比 +11団体)
- ・利用人数 延4,200人 (前年比 +160人)

⑤各種奉仕員養成講座の実施

(総事業費 1,190,700円)

種 別		内 容	開催日	開催回数	受講人数 (延)	前年比
手話奉仕員 養成講座	入門	手話の基礎知識と実技	平成30年5月～ 9月の毎水曜日	全19回	153人	+6人
	基礎	手話の応用知識と実技	平成30年9月～ 平成31年2月の 毎水曜日	全21回	162人	-4人
点訳奉仕員 養成講座	入門	点訳の基礎知識と実技	平成30年5月～ 9月の毎火曜日	全20回	157人	-75人
	中級	点訳の応用知識と実技	平成30年10月 ～平成31年3月 の毎火曜日	全18回	157人	-33人
音訳奉仕員 養成講座	初級	音訳の基礎知識と実技	平成30年5月～ 8月の毎水曜日	全15回	119人	-70人
	中級	音訳の応用知識と実技	平成30年9月～ 平成31年2月の 毎水曜日	全20回	140人	-101人

⑥宇都宮市意思疎通支援事業（要約筆記者派遣事業）の実施（平成18年10月1日受託）  
 （総事業費 723,712円）

聴覚障がい者等を対象に、日常生活を営むうえでコミュニケーションを必要とするときに、要約筆記者を派遣することにより社会参加を円滑にし、障がい者福祉の増進を図った。

・派遣依頼数	41件	（前年比 -14件）
・活動筆記者数	81人	（前年比 +3人）

⑦宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業の実施（平成26年6月25日受託）  
 （総事業費 25,024,406円）

高齢者の社会参加や健康づくり、生きがいを支える「宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業」の管理運営機関として、円滑かつ適正に事業を展開した。

・認定団体数	616団体	（前年比 +50件）
・対象者数	延19,198人	（前年比 +2,960人）

⑧生活困窮者自立相談支援事業の実施（平成26年6月25日モデル事業受託）  
 （平成27年4月1日受託）  
 （総事業費 25,141,776円）

現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方に対し、自立に向けた相談支援を行った。

また、「生命保険協会栃木県支部」から、巡回車両1台の寄贈を受けた。

・新規相談件数（新規受付実人数）	763件	（前年比 -53件）
・自立に向けたプラン作成件数	472件	（前年比 +36件）
・支援回数	延4,381件	（前年比 +4件）
・就労支援対象者数	134件	（前年比 -5件）
・就職及び増収者数	113件	（前年比 +12件）
・事業運営委員会の開催	2回	（前年比 ±0回）

⑨援護事業の実施

所持金紛失等により、目的地まで行くことのできない行旅人に対して、旅費（500円限度）を貸付した。

・行旅人	94人	47,000円	（前年比 -8人）
------	-----	---------	-----------

### (3) 県社協からの受託事業等の実施

#### ①権利擁護センター「あすてらす」事業の実施 (平成11年10月1日受託)

認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者など、判断能力が十分でない方々に対し、安心して地域等で暮らせるよう相談に応じるとともに、福祉サービスの利用援助や金銭管理等のサービスを提供した。

(総事業費 8,916,400円)

- ・担当地区 宇都宮市・上三川町
- ・契約者数 95人(新規契約者:14人)  
(前年比 契約者数:-1人、新規契約者数+4人)
- ・一般相談 毎週月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
- ・相談件数 延2,438件
- ・相談者内訳

区 分	相 談 件 数	前年比
認知症高齢者	737件	+133件
知的障がい者	489件	+20件
精神障がい者	1,065件	+468件
身体障がい者	133件	+69件
その他	14件	+13件
合 計 (延)	2,438件	+703件

#### ②生活福祉資金等貸付事業の実施

(総事業費 7,049,218円)

低所得者世帯などに対して、低金利または無利子での資金の申請と必要な援助指導を行うことにより、経済的自立や生活意欲の向上及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう支援した。

資 金 種 別		申請件数
生活福祉資金	総合支援資金	0件
	福祉資金(福祉費)	9件
	福祉資金(緊急小口資金)	6件
	教育支援資金	8件
	不動産担保型生活資金	0件
臨時特例つなぎ資金		1件
合 計		24件

(前年比 -9件)

- ・相談件数 延1,441件 (前年比 -120件)